



2018年1月23日

各位

会社名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 船橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社グループ会社の(株)プライミュンおよび(株)ジェネティックラボにおける
自己採取HPV検査サービス「PAPI'Qss (パピックス)」サービス
特設PRブース開設のお知らせ

当社グループ会社の株式会社プライミュン(代表取締役社長:福永健司、兵庫県神戸市)および株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市/以下、ジェネティックラボ)は、医療用品の製造販売を行っているアイエスケー株式会社(代表取締役社長:中島実佳、東京都文京区)と共同で、自己採取ヒトパピローマウィルス(HPV)検査サービス(PAPI'Qss)をより多くのみなさまに知っていただくため、都内百貨店におきまして特設PRブースを開設いたしますので、お知らせします。

【PAPI'Qss サービス概要】

PAPI'Qssは、一般の方がインターネットで申し込み、ご自身で採取した子宮頸部の細胞を検査機関へ郵送し、発がん性HPV^{※1}が存在するか否かの検査を受け、その検査結果をインターネットで確認できる検査サービスです。

検査に使用する検査キットは、日本人女性を対象にアイエスケー株式会社が開発し、医療機器として承認を受けている自己採取器具であり、安心して使用できます。検査はCAP(米国病理学会)の認定ラボを有する株式会社ジェネティックラボにて実施いたします。

一般的なHPV検査は、病院において医師による細胞採取によって細胞診と併用で行われますが、ジェネティックラボでは独自に複数の婦人科医療機関に協力をあおぎ、自己採取HPV検査の有効性について検証を行いました。その結果、当サービスで使用する検査キットによる自己採取法において、医師採取でのHPV検査の判定結果との一致率は96.5%^{※2}と、ほぼ同等の検査結果が得られております。

当サービスはHPV感染の単独検査となりますが、細胞診で発見される子宮頸がん^{※3}の原因となる発がん性HPVの感染の有無を、自宅で手軽に確認できる検査は非常に有用であると考えております。また、当サービスで使用する解析機器は、FDA(米国食品医薬品局)が承認している機器であり、当社グループならではの高品質な検査サービスを提供いたします。

【特設PRブース開設概要】

開設場所: OIOI 新宿マルイ 本館
東京都新宿区新宿 3-30-13 地下1階
開設期間: 2018年2月10日(土)~11日(日) 11:00~20:00

みなさまのご来場をお待ちいたしております。

◆当社グループ関連サービス：

- ・子宮頸がんにおける液状細胞診と HPV 核酸検出検査（簡易ジェノタイプ判定）
- ・自己採取 HPV 検査サービス

◆ご参考

※1 発がん性 HPV

ヒトの皮膚や粘膜に感染するパピローマウイルスのことで、そのうちハイリスク型と呼ばれるものは子宮頸がんの原因になると考えられています

※2 各機器メーカーが推奨する細胞回収容器の仕様によって、検出率は変動することがあります

※3 子宮頸がん

子宮の入口の子宮頸部に発生するがんで、その多くにヒトパピローマウイルス（HPV：Human Papillomavirus）の感染が関連することが報告されています。子宮頸がんの罹患数は年間約10,000人、死亡数は年間約2,900人（地域がん登録全国推計値2012年 上皮内がんを除く）です。子宮頸がん検診は非常に有効で、進行がんを防ぎ死亡を減らす効果が証明されています。

◆本件に関するお問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 病理部営業課

〒060-0009 北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196 札幌ITフロントビル3F

E-MAIL: sales@gene-lab.com <http://www.gene-lab.com/>

以上